級別に取り組む、漢字の問題プリント

漢字ドリル

漢検 準2 級

第4巻　問題のみ

読み、書き、くり返し。

36字

この巻で学ぶ漢字

この巻で取り組む漢字の一部

貝 赤 足 車 金 雨

問題にじっくり取り組む

本文 37ページ・答えは各用紙のQRから

diglabo.com

diglabo

漢検の級別配当を参考にした独自教材です。公式問題集ではありません。

じゅん2きゅう 4かん たんい1 A

なまえ

/ 17

1. すしの赤(あか)□(がい)はこりこりしている
2. 遠(えん)□(そく)で動物園(どうぶつえん)に行(い)く
3. お祭(まつ)りで□(きん)魚(ぎょ)すくいをする
4. 鉄板の表面に□(あ)鉛(えん)をめっきする
5. 沖縄は□(あ)熱帯(ねったい)の気候だ
6. アサリは二(に)枚(まい)□(がい)だ
7. 手(て)□(あし)をばたばたさせておよぐ
8. □(きん)曜日(ようび)にプールがある
9. 赤い 夕日が山にしずむ □
10. 車 の窓(まど)から海(うみ)が見える □
11. しとしとと 雨 がふりつづく □
12. チンパンジーなどの 類 人 猿 の知能を調べる □
13. 誕生日(たんじょうび)に 赤 飯 をたく □
14. 信号(しんごう)の 赤 色 は止(と)まれ □
15. 駅(えき)で 電 車 を待(ま)つ □
16. 雨 天 で運動会(うんどうかい)が延(の)びる □
17. 猿 回 し の芸に見入る □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん たんい1 A-2

なまえ

/ 16

1. 有名画家の□(あ)流(りゅう)にとどまる作品
2. ベンガルトラはトラの□(あ)種(しゅ)だ
3. すなはまで巻(まき)□(がい)をひろう
4. ホタテの□(かい)柱(ばしら)をバターで焼(や)く
5. ろう下に□(あし)音(おと)がひびく
6. 右(みぎ)□(あし)でけんけんする
7. 夕日で海(うみ)が□(きん)色(いろ)にかがやく
8. 大(たい)□(きん)を交番(こうばん)にとどける
9. 赤らむ □
10. 赤らめる □
11. 見え透いた猿芝居にだまされない □
12. あの二人は犬猿の仲だ □
13. 川の水車がゆっくり回(まわ)る □
14. 終点(しゅうてん)で下車する □
15. 大雨で道(みち)が水びたしになる □
16. 朝(あさ)から小雨がふったりやんだりしている □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん たんい1 B

なまえ

/ 17

1. 信号の□色は止まれ（あか）
2. 駅で電□を待つ（しゃ）
3. □人の化石が見つかる（えん）
4. 山で野□の群れを見る（や）
5. 運動会で□組をおうえんする（あか）
6. 自動□がびゅんと通る（しゃ）
7. 黒い□雲が近づく（あま）
8. □水が窓ガラスを伝う（あま）
9. しおひがりで貝をたくさんとる
10. チーターは足がとても速い
11. おこづかいのお金を財布に入れる
12. 恐竜が栄えた白亜紀の地層を調べる
13. 遠足で動物園に行く
14. おかしを買うのにお金が足りる
15. オリンピックで金メダルをとる
16. ヒット作の亜流が次々に現れる
17. 岩のすきまに貝がくっついている

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん たんい1 B-2

なまえ

/ 12

1. 大(おお)[ ](あめ)で電車(でん)がおくれる
2. ゴリラは類(るい)人(じん)[ ](えん)だ
3. 二人は犬(けん)[ ](えん)の仲だ
4. [ ](う)天(てん)で運動会(うんどうかい)が延(の)びる
5. 足る [ ]
6. 三に二を足す と五になる [ ]
7. 北海道の大部分は 亜寒帯 に属する [ ]
8. 亜麻色 の長い髪が風になびく [ ]
9. 貝がら を耳に当(あ)てると波(なみ)の音がする [ ]
10. 魚屋(さかなや)さんに 赤貝 がならぶ [ ]
11. 泉(いずみ)のめがみが 金 のおのを出してくれた [ ]
12. おじいちゃんは 大金 をかけて家(いえ)を建(た)てた [ ]

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん たんい2 A

なまえ

/ 19

1. □(あお)空(ぞら)にたこが上がる
2. この本は一(いち)□(まん)冊(さつ)売れた
3. 町の□(こう)通(つう)ルールを守(まも)る
4. 夏の夕暮れに□(か)柱(ばしら)が立つ
5. □(まん)一(いち)の地しんにそなえる
6. 父は国の外(がい)□(こう)の仕事(しごと)をしている
7. 渓流釣りで□(か)針(ばり)を使う
8. □(せい)年(ねん)が道(みち)を教(おし)えてくれた
9. □(あおい)アサガオがさいた
10. 遠(とお)くでたいこの音がする
11. 夜空に丸い月がうかぶ
12. 日本の首都(と)は東京だ
13. ローンを一括払いで返済する
14. 音楽に合(あ)わせておどる
15. 日本語の母音は五つある
16. クラスが一丸となって歌う
17. 川に丸太の橋(はし)をかける
18. 京阪神を結ぶ鉄道は本数が多い
19. 大切な語を括弧で囲む

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん たんい2 A-2

なまえ

/ 15

1. 大きな市には百□人がくらす（まん）
2. 花火を見に十□人が来た（まん）
3. 駅前の□番で道を聞く（こう）
4. 兄と□代で犬の散歩をする（こう）
5. □取線香をたく（か）
6. 五月の□葉がまぶしい（あお）
7. □色のクレヨンで海をかく（あお）
8. 笛のきれいな音色が聞こえる（ふえ）
9. 新聞紙をくしゃくしゃに丸める
10. 森で切った丸太をトラックで運ぶ（はこ）
11. 兄は大学に入るため春に上京した
12. おばあさんの家には古い京人形がある
13. 営業部門を統括する部長
14. 包括的な合意に達する
15. 階段を上る足音が聞こえる（かいだん）

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん たんい2 B

なまえ

/ 16

1. 川に□まる太(た)の橋(はし)をかける
2. 新幹線(かん)で東(とう)□きょうへ行く
3. 代金を一(いっ)□かつで支払う
4. 毛布(ふ)を□まる洗(あら)いする
5. 春にいとこが上(じょう)□きょうしてくる
6. 一年間の活動を総(そう)□かつする
7. 青い海(うみ)がどこまでもつづく □
8. お年玉を合わせると一万円になった □
9. 二本の道が交わるところに信号(しんごう)がある □
10. 耳元で蚊の羽音がする □
11. 青年が道(みち)を教(おし)えてくれた □
12. 青空にたこが上がる □
13. 引退の日に万感胸に迫る □
14. 町の交通ルールを守(まも)る □
15. 交える □
16. 夏の夜に蚊に刺されて腕がかゆい □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん たんい2 B-2

なまえ

/ 14

1. 楽(おん)(がく)に合(あ)わせておどる
2. ねん土を手のひらで まるめる
3. 家族(ぞく)で 都(きょう)(と)へ旅行(りょ)する
4. 祖母(そ)は 言(きょう)(こと)葉(ば)で話す
5. 要点を 概(がい)(かつ)する
6. 笛(ふえ)のきれいな 色(ね)(いろ)が聞(き)こえる
7. 日本語の 母(ぼ)(いん)は五つある
8. 交じる
9. 交ざる
10. 花束(たば)に赤い花を 交ぜる
11. 市の図書館(かん)には 百万 冊(さつ)の本がある
12. 森には 十万 本の木が立っている
13. 青空 に飛行機雲(ひこうきぐも)がのびる
14. となりの家(いえ)の 青年 は大学生だ

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん たんい2 B-3

なまえ

/ 13

1. ぼくは父に似て□顔だ（まる）
2. クラスが一□となって歌う（がん）
3. たなに□人形をかざる（きょう）
4. 全分野を包□する法律（かつ）
5. うしろから足□が近づく（おと）
6. 英語の発□をまねする（おん）
7. □ネット上に根も葉もないうわさが飛び交う
8. □旅先で地元の人と言葉を交わす
9. □万一のときは先生に知らせる
10. □高い山の上には夏でも万年雪が残る
11. □大雪で交通がみだれる
12. □蚊取線香の煙が漂う
13. □青虫がむしゃむしゃ葉っぱを食べる

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん たんい3 A

なまえ

/ 18

1. □回（こん・かい）のテストは百点だった
2. 長い山道を歩くには□力（たい・りょく）がいる
3. 夏休みの思い出を□文（さく・ぶん）に書く
4. 小学校に入って□年（いち・ねん）がたつ
5. お正月のある□月（いち・がつ）は寒（さむ）い
6. □週（こん・しゅう）の金曜日は遠足だ
7. □育（たい・いく）の時間になわとびをする
8. 空き箱（ばこ）で工（こう）□（さく）をする
9. 夏休みにいなかのおじいさんと会（あ）う
10. おやつに何（なに）を食べようか
11. かぜがなおって元気（げんき）になった
12. 駅（えき）の前（まえ）に人（ひと）がたくさんならぶ
13. 父は会社（かいしゃ）に電車で通う
14. 師匠の技の極意を会得（えとく）する
15. 床に幾何学的（きかがくてき）な模様のタイルを張る
16. 元日（がんじつ）の朝に初（はつ）もうでに行く
17. 出かける前に火元（ひもと）を確（たし）かめる
18. クラスで人気（にんき）の遊（あそ）びはドッジボールだ

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん たんい3 B

なまえ

/ 18

1. 父は □(かい) 社(しゃ) に電車で通う
2. クラスに □(なん) □(にん) いるか数える
3. 子犬が □(げん) 気(き) に走り回る
4. ひなまつりに □(にん) 形(ぎょう) をかざる
5. 兄は 社(しゃ) □(かい) の時間に地図を見る
6. 同じ本を □(なん) 回(かい) も読む
7. 出かける前に 火(ひ) □(もと) を確(たし)かめる
8. □(がん) 日(じつ) の朝に初(はつ)もうでに行く
9. 今は午後三時だ □
10. おふろで体をきれいにあらう □
11. 母とクッキーを作る □
12. おやつのクッキーを一つずつくばる □
13. 今回のテストは百点だった □
14. 平安時代に編まれた古今和歌集を読む □
15. 長い山道を歩くには体力がいる □
16. レポートの体裁を整える □
17. 夏休みの思い出を作文に書く □
18. カレンダーをめくると六月一日だった □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん ふりかえり3 A

なまえ

/ 24

1. すしの 赤(あか)□(がい) はこりこりしている
2. 遠(えん)□(そく) で動物園(どうぶつえん)に行(い)く
3. お祭(まつ)りで □(きん) 魚(ぎょ) すくいをする
4. □(あお) 空(ぞら) にたこが上がる
5. この本は 一(いち)□(まん) 冊(さつ)売れた
6. 町の □(こう) 通(つう) ルールを守(まも)る
7. □(こん) 回(かい) のテストは百点だった
8. 長い山道を歩くには □(たい) 力(りょく) がいる
9. 夏休みの思い出を □(さく) 文(ぶん) に書く
10. 鉄板の表面に □(あ) 鉛(えん) をめっきする
11. 夏の夕暮れに □(か) 柱(ばしら) が立つ
12. □(まん) 一(いち) の地しんにそなえる
13. 赤い 夕日が山にしずむ □
14. 車の窓(まど)から海(うみ)が見える □
15. しとしとと 雨 がふりつづく □
16. 遠(とお)くでたいこの 音 がする □
17. 夜空に 丸い 月がうかぶ □
18. 日本の首都(と)は 東京 だ □
19. 夏休みにいなかのおじいさんと 会う □
20. おやつに 何 を食べようか □
21. かぜがなおって 元気 になった □
22. チンパンジーなどの 類人猿 の知能を調べる □
23. ローンを 一括払い で返済する □
24. 駅(えき)の前(まえ)に 人 がたくさんならぶ □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん ふりかえり3 A-2

なまえ

/ 24

1. 小学校に入って □年(いちねん)がたつ
2. お正月のある □月(いちがつ)は寒(さむ)い
3. 大きな市には 百(ひゃく)□(まん)人がくらす
4. 花火を見に 十(じゅう)□(まん)人が来た
5. 有名画家の □流(あるりゅう)にとどまる作品
6. ベンガルトラはトラの □種(あるしゅ)だ
7. 駅(えき)前の □番(こうばん)で道を聞く
8. 兄と □代(こうたい)で犬の散歩(さんぽ)をする
9. □週(こんしゅう)の金曜日は遠足だ
10. □夜(こんや)は花火大会がある
11. □育(たいいく)の時間になわとびをする
12. 水はわかすと 気(き)□(たい)に変(か)わる
13. 森で切った 丸太 をトラックで運(はこ)ぶ
14. ゆきだるまは 丸顔 でにこにこしている
15. 兄は大学に入るため春に 上京 した
16. おばあさんの家には古い 京人形 がある
17. クラスで 人気 の遊(あそ)びはドッジボールだ
18. 父の 会社 は駅(えき)の近くにある
19. 野球(きゅう)の 大会 で兄のチームが勝(か)った
20. 弟の名前を 何回 もよんだ
21. 宿題(しゅくだい)は 何日 までに出すのか
22. 雨の日は 足元 がすべりやすい
23. 元日 には家族(ぞく)でおせちを食べる
24. 大切な語を 括弧 で囲む

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん ふりかえり3 B

なまえ

/ 24

1. 信号(しんごう)の □(あか)色(いろ)は止(と)まれ
2. 駅(えき)で電(でん)□(しゃ)を待(ま)つ
3. 川に □(まる)太(た)の橋(はし)をかける
4. 新幹線(かんせん)で東(とう)□(きょう)へ行く
5. クラスに □(なん)人(にん)いるか数える
6. □(えん)人(じん)の化石が見つかる
7. 代金を一(いっ)□(かつ)で支払う
8. ぼくは父に似(に)て □(まる)顔(がお)だ

9. しおひがりで 貝 をたくさんとる
10. チーターは 足 がとても速(はや)い
11. おこづかいのお 金 を財布(さいふ)に入れる
12. 青い 海(うみ)がどこまでもつづく
13. お年玉を合わせると 一万 円になった
14. 二本の道が 交わる ところに信号(しんごう)がある
15. 今 は午後三時だ
16. おふろで 体 をきれいにあらう

17. 母とクッキーを 作る
18. 恐竜が栄えた 白亜紀 の地層を調べる
19. 耳元で 蚊 の羽音がする
20. おやつのクッキーを 一つ ずつくばる
21. 市の図書館(かん)には 百万 冊(さつ)の本がある
22. 北海道の大部分は 亜寒帯 に属する
23. 大雪で 交通 がみだれる
24. 大人のチームに子供(ども)を 交ぜる

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん ふりかえり3 B-2

なまえ

/ 24

1. 大□で電車がおくれる（あめ）
2. □楽に合わせておどる（おん／がく）
3. 父は□社に電車で通う（かい／しゃ）
4. 子犬が□気に走り回る（げん／き）
5. ひなまつりに□形をかざる（にん／ぎょう）
6. クラスが一□となって歌う（いち／がん）
7. 毛布を□洗いする（ふ／まる／あら）
8. 春にいとこが上□してくる（じょう／きょう）
9. 家族で□都へ旅行する（ぞく／きょう／と／りょ）
10. おじいちゃんはけん玉の名□だ（めい／じん）
11. 兄は社□の時間に地図を見る（しゃ／かい）
12. 同じ本を□回も読む（なん／かい）
13. カレンダーをめくると六月一日だった
14. 入学したばかりの一年生が校庭にならぶ（てい）
15. 森には十万本の木が立っている
16. 高い山の上には夏でも万年雪が残る（のこ）
17. 亜麻色の長い髪が風になびく
18. ヒット作の亜流が次々に現れる
19. おまわりさんが交番の前に立っている
20. ネット上に根も葉もないうわさが飛び交う
21. 今夜は星がよく見える
22. 平安時代に編まれた古今和歌集を読む
23. 水泳を続けて体力がついた（えい／つづ）
24. 風船の中には気体が入っている

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん たんい4 A

なまえ

/ 17

1. □(きょう)弟(だい)でおもちゃを分け合う
2. 学校の帰りに□(こう)園(えん)で遊(あそ)ぶ
3. □(ふゆ)休(やす)みにスキーに行く
4. □(じゅう)月(がつ)に運動会(うんどうかい)がある
5. 道場で□(あに)弟(で)子(し)に教わる
6. 漁船(ぎょ)が□(こう)海(かい)で魚をとる
7. 真(ま)□(ふゆ)の朝は池に氷(こおり)がはる
8. おにごっこに□(じゅう)人(にん)があつまった
9. 夏の夜にほたるが 光る □
10. 友達(だち)に心の 内 を話す □
11. 博物館(はくぶつかん)で古い 刀 を見る □
12. あしたの 天 気 をテレビで調(しら)べる □
13. ふとんに 日 光 を当ててほす □
14. カーテンのすき間から朝の 光 がさしこむ □
15. 駅(えき)までの道を 案 内 する □
16. お城(しろ)に 宝 刀 がかざってある □
17. 雨 天 でもサッカーの試合(しあい)をする □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん たんい4 B

なまえ

/ 16

1. ふとんに 日(にっ) □(こう) を当ててほす
2. 駅(えき)までの道を 案(あん) □(ない) する
3. 博物館(はくぶつかん)に 小(こ) □(がたな) がかざってある
4. 夜のまどから 月(げつ) □(こう) がさしこむ
5. 夏休みに 国(こく) □(ない) を旅行(りょ)する
6. お城(しろ)に 宝(ほう) □(とう) がかざってある
7. 雨(う) □(てん) のときは体育館(たいいくかん)で遊(あそ)ぶ
8. おかし屋(や)はまるで □(てん) 国(ごく) だ
9. 兄 は中学校でサッカー部(ぶ)に入っている □
10. 近くの 公園 で桜(さくら)がさいた □
11. 冬 になると北風がふく □
12. 外国(がいこく)からの荷物(にもつ)が 十日 でとどいた □
13. 義兄 は高校で数学を教えている □
14. 調査の結果を 公にする □
15. スケート場は 冬期 だけ開(ひら)く □
16. 遠足(えん)は来月(らい)の 二十日 だ □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん たんい4 B-2

なまえ

/ 14

1. 気(てん)がよいので公園(こうえん)で遊(あそ)ぶ
2. ヒーローが手から線(こう)を出す
3. 外国の人が観(かん)に来る
4. 休み時間に校(こう)を見回る
5. 雨の日は室(しつ)で遊(あそ)ぶ
6. 弟(おとうと)はパズルの才(てん)だ
7. ぼくたちは三人 兄 弟 だ
8. 毎朝 兄 といっしょに学校へ行く
9. この町の小学校はみんな 公 立 だ
10. 大きな船が 公 海 をゆっくり進(すす)む
11. 冬 休 み におばあさんの家でもちつきをする
12. 父は 冬 山 でスキーをするのが好(す)きだ
13. エレベーターには 十 人 まで乗(の)れる
14. 名前(まえ)を 五 十 音 のじゅんにならべる

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん たんい5 A

なまえ

/ 12

1. 日曜日の［ご］［ぜん］はピアノを習(なら)う
2. 日曜日の［ご］［後(ご)］は家で本を読む
3. 体を［ぜん］［後(ご)］にゆらす
4. はさみで紙を［切］る
5. 地図ではふつう上が［北］だ
6. りんごを［半］［分］に切って二人で食べる
7. 家(いえ)の裏(うら)の［林］でカブトムシをとる
8. お年寄(よ)りに［親］［切］にする
9. 時計の電池が［切］［れ］る
10. ［東］［北］の夏祭(まつ)りを見に行く
11. 九月の［半］［ば］に運動(うんどう)会がある
12. ［林］をぬけると広(ひろ)い野原(のはら)に出た

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん たんい5 A-2

なまえ

/ 15

1. 自(じ)□(ぶん)で朝ごはんを作る
2. ぼくと姉(あね)は学(がく)□(ねん)が二つちがう
3. 晴れた日は気(き)□(ぶん)がいい
4. ノートに名(な)□(まえ)を書く
5. 駅(えき)□(まえ)で友達(だち)と待(ま)ち合わせる
6. 学校では正(しょう)□(ご)にチャイムが鳴る
7. 来(らい)□(ねん)は海(うみ)に行(い)きたい
8. 道を教えてくれた親切な人にお礼(れい)を言う □
9. 切り紙で雪の模様(もよう)を作る □
10. 北風にふかれて木の葉(は)がちる □
11. わたり鳥は南北を行き来する □
12. 紙を切って半円の形を作る □
13. 夏休みの半ばに海へ行った □
14. 森林の中でキャンプをする □
15. 山林で木を切る仕事(しごと)をする □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん たんい5 B

なまえ

/ 16

1. お年寄りに親□にする（せつ）
2. □風（きた かぜ）が冷たくて耳が痛い
3. コップの水を□分（はん ぶん）飲む
4. 竹（ちく）□（りん）でたけのこをほる
5. □り紙（き かみ）で星を作る
6. □国（きた ぐに）では冬に雪が多い
7. 夜空に□月（はん げつ）がうかんでいる
8. 森（しん）□（りん）にクマがすんでいる
9. クラスを四つの班（はん）に分ける：□
10. 列（れつ）の一番前：□にならぶ
11. 雨がやんだので午後：□は外で遊（あそ）ぶ
12. お正月に新（あたら）しい年：□をむかえる
13. 自分：□で朝ごはんを作る
14. 分かれる：□
15. 日曜日の午前：□はピアノを習（なら）う
16. 学年：□ごとにならんで写真（しゃしん）をとる

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん たんい5 B-2

なまえ

/ 16

1. もらった本を 大(たい) □(せつ) にする
2. 丸太の □(き) り 口(くち) を見る
3. 東(とう) □(ほく) の夏祭(まつ)りを見に行く
4. □(ほっ) 海(かい) 道(どう) でスキーをする
5. ピアノを習(なら)って □(はん) 年(とし) になる
6. 試(し)合の 後(こう) □(はん) で点を取(と)った
7. 海辺(うみべ)の 松(まつ) □(ばやし) で遊(あそ)ぶ
8. □(りん) 道(どう) を登(のぼ)って山に行(い)く
9. 図をかくと答えがすぐ 分かる □
10. 分かつ □
11. 自分の考えを発表(はっぴょう)する □
12. 午前九時に家を出る □
13. かわいい子ねこに 名前 をつける □
14. 時計のはりが 正午 をさしている □
15. ぼくは兄(あに)より四つ 年下 だ □
16. 一年生 の教室(きょうしつ)に花をかざる □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん たんい6 A

なまえ

/ 15

1. 日本は□(なん)北(ぼく)に長い国だ
2. 兄には小学校からの親(しん)□(ゆう)がいる
3. お城(しろ)に□(おう)子(じ)がすんでいる
4. 家の東(とう)□(なん)に大きな木がある
5. 父の□(ゆう)人(じん)が家に遊(あそ)びに来た
6. □(おう)女(じょ)がきれいなドレスを着(き)る
7. 近所(じょ)の 原っぱ でたこをあげる
8. 百年前に建(た)てられた 古い お寺を見に行く
9. このくつはぼくの足にぴったり 合う
10. 空 いっぱいに星(ほし)がかがやく
11. 夏休みに 高原 の牧(ぼく)場へ行った
12. 兄が 中古 の自転(てん)車を買った
13. テストの点の 合計 を出す
14. 二台のロボットが 合体 する
15. 風船(ふうせん)の 空気 がぬけてしぼむ

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん たんい6 A-2

なまえ

/ 17

1. 家の前に 一(いち) □(だい) の車が止まった
2. 公園の □(みなみ) 口(ぐち) に花だんがある
3. □(なん) 極(きょく) は一年中とても寒(さむ)い
4. 母は高校の 学(がく) □(ゆう) と今も会う
5. 二人の □(ゆう) 情(じょう) は長く続(つづ)いた
6. 大きな □(たい) 風(ふう) が近づいている
7. 女(じょ) □(おう) が馬車(ばしゃ)で町を通(とお)る
8. □(おう) 様(さま) がごちそうを食(た)べる
9. 合わす □
10. クラスのみんなで力を 合わせる □
11. ちょうちょうが 野原 を飛(と)んでいる □
12. 夏でも 高原 はすずしい風がふく □
13. 読み終(お)えたまんがを 古本 として売る □
14. 年に一度(ど)は父の 古里 に帰る □
15. 三つの数の 合計 を求(もと)める □
16. 青空 の下でおべんとうを食(た)べる □
17. ツバメが 空中 でくるりと回(まわ)る □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん たんい6 B

なまえ

/ 16

1. 春の 野(の) □(はら) で花をつむ
2. 兄は店で □(ふる) 本(ほん) を三冊(さつ)買った
3. テストの点の □(ごう) 計(けい) を出す
4. ボールに □(くう) 気(き) を入れる
5. 夏休みに 高(こう) □(げん) の牧場(ぼく)へ行った
6. 兄が 中(ちゅう) □(こ) の自転車(てん)を買った
7. 先生の □(あい) 図(ず) で走り出す
8. 雨がやんで 青(あお) □(ぞら) が見える
9. わたしの家のまどは 南 を向(む)いていて明るい
10. こまったときに助(たす)けてくれるのが本当の 友 だ
11. 家には自転車(てん)が 一 台 ある
12. ライオンは動物(どうぶつ)の 王 とよばれる
13. 日本は 南 北 に長い国だ
14. 兄には小学校からの 親 友 がいる
15. 大きな 台 風 が近づいている
16. 王 子 がガラスのくつを見つけた

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん ふりかえり6 A

なまえ

/ 24

1. すしの 赤(あか) □(がい) はこりこりしている
2. お祭(まつ)りで □(きん) 魚(ぎょ) すくいをする
3. □(あお) 空(ぞら) にたこが上がる
4. 町の □(こう) 通(つう) ルールを守(まも)る
5. □(こん) 回(かい) のテストは百点だった
6. 夏休みの思い出を □(さく) 文(ぶん) に書く
7. □(きょう) 弟(だい) でおもちゃを分け合う
8. □(ふゆ) 休(やす)み にスキーに行く
9. 日曜日の □(ご) 後(ご) は家で本を読む
10. 日本は □(なん) 北(ぼく) に長い国だ
11. 家の前に 一(いち) □(だい) の車が止まった
12. □ チーターは 足 がとても速(はや)い
13. □ お年玉を合わせると 一 万 円になった
14. □ おふろで 体 をきれいにあらう
15. □ 近くの 公 園 で桜(さくら)がさいた
16. □ 列(れつ)の 一 番 前 にならぶ
17. □ こまったときに助(たす)けてくれるのが本当の 友 だ
18. □ 恐竜が栄えた 白 亜 紀 の地層を調べる
19. □ 耳元で 蚊 の羽音がする
20. □ おやつのクッキーを 一 つ ずつくばる
21. □ 外国(がいこく)からの荷物(にもつ)が 十 日 でとどいた
22. □ お正月に新(あたら)しい 年 をむかえる
23. □ ライオンは動物(どうぶつ)の 王 とよばれる
24. □ 高い山の上には夏でも 万 年 雪 が残(のこ)る

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん ふりかえり6 A-2

なまえ

/ 24

1. 自□で朝ごはんを作る
2. 駅前の□番で道を聞く
3. 兄と□代で犬の散歩をする
4. □週の金曜日は遠足だ
5. □夜は花火大会がある
6. 真□の朝は池に氷がはる
7. 雪のつもった□山に登る
8. 晴れた日は気□がいい
9. 公園の□口に花だんがある
10. □極は一年中とても寒い
11. カレンダーをめくると六月 一日 だった
12. 雨がふって 一日 中 外で遊べない
13. 市の図書館には 百 万 冊の本がある
14. 森には 十 万 本の木が立っている
15. 亜 麻 色 の長い髪が風になびく
16. ヒット作の 亜 流 が次々に現れる
17. 水泳を続けて 体 力 がついた
18. 風船の中には 気 体 が入っている
19. この町の小学校はみんな 公 立 だ
20. 大きな船が 公 海 をゆっくり進む
21. 午 前 九時に家を出る
22. かわいい子ねこに 名 前 をつける
23. エレベーターには 十 人 まで乗れる
24. 転校していった 親 友 に手紙を書く

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん ふりかえり6 B

なまえ

/ 24

1. 駅で電□を待つ
2. 川に□太の橋をかける
3. クラスに□人いるか数える
4. 駅までの道を案□する
5. □風が冷たくて耳が痛い
6. □人の化石が見つかる
7. 代金を一□で支払う
8. □気がよいので公園で遊ぶ

9. 竹□でたけのこをほる
10. ボールに□気を入れる
11. 毛布を□洗いする
12. 赤い夕日が山にしずむ
13. しとしとと雨がふりつづく
14. 遠くでたいこの音がする
15. 日本の首都は東京だ
16. 夏休みにいなかのおじいさんと会う

17. かぜがなおって元気になった
18. 夏の夜にほたるが光る
19. 博物館で古い刀を見る
20. はさみで紙を切る
21. りんごを半分に切って二人で食べる
22. 近所の原っぱでたこをあげる
23. このくつはぼくの足にぴったり合う
24. おばあさんの家には古い京人形がある

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん ふりかえり6 B-2

なまえ

/ 24

1. 兄は店で［ふる］本（ほん）を三冊（さつ）買った
2. ひなまつりに［にん］形（ぎょう）をかざる
3. ぼくは父に似（に）て［まる］顔（がお）だ
4. クラスが一（いち）［がん］となって歌う
5. おじいちゃんはけん玉の名（めい）［じん］だ
6. 同じ本を［なん］回（かい）も読む
7. 誕生（たん）日まであと［なん］日（にち）だろう
8. 夏休みに国（こく）［ない］を旅（りょ）行する
9. 休み時間に校（こう）［ない］を見回る
10. ［きた］国（ぐに）では冬に雪が多い
11. 東（とう）［ほく］の夏祭（まつ）りを見に行く
12. 兄は大学に入るため春に上京した
13. 京阪神を結ぶ鉄道は本数が多い
14. 父の会社は駅（えき）の近くにある
15. 野球（きゅう）の大会で兄のチームが勝（か）った
16. 雨の日は足元がすべりやすい
17. 元日には家族（ぞく）でおせちを食べる
18. 朝の日光をあびて目をさます
19. 月光が海をてらしている
20. おみやげに木刀を買った
21. 切り紙で雪の模様（もよう）を作る
22. この料理には肉を一切使っていない
23. 紙を切って半円の形を作る
24. 夏休みの半ばに海へ行った

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん かん字のしくみ 1

なまえ

/ 18

6	5	4	3	2	1
雨	金	車	足	赤	貝
部首	部首	部首	部首	部首	部首

12	11	10	9	8	7
京	交	丸	万	音	青
部首	部首	部首	部首	部首	部首

18	17	16	15	14	13
元	作	何	体	会	今
部首	部首	部首	部首	部首	部首

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん かん字のしくみ 2

なまえ

/ 18

6	5	4	3	2	1
刀	冬	内	公	光	兄
部首	部首	部首	部首	部首	部首

12	11	10	9	8	7
半	午	北	前	切	分
部首	部首	部首	部首	部首	部首

18	17	16	15	14	13
合	台	古	友	原	南
部首	部首	部首	部首	部首	部首

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん 一字の音と訓

なまえ

/ 24

○の中の漢字の音読みと訓読みを、語に合うひらがなで□に記せ。

雨

訓 音

8 雨雲 □

7 雨天 □

車

訓 音

6 車 □

5 電車 □

足

訓 音

4 足元 □

3 遠足 □

赤

訓 音

2 赤組 □

1 赤飯 □

今

訓 音

16 今 □

15 今回 □

丸

訓 音

14 丸太 □

13 一丸 □

音

訓 音

12 足音 □

11 音楽 □

青

訓 音

10 青空 □

9 青年 □

人

訓 音

24 人 □

23 名人 □

北

訓 音

22 北風 □

21 東北 □

元

訓 音

20 火元 □

19 元気 □

体

訓 音

18 体 □

17 体力 □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん ふたつのよみ

なまえ

/ 24

次の——線の漢字の読みをひらがなで□に記せ。

1. 六曜の赤口は正午前後のみ吉 □
2. 運動会で赤組をおうえんする □
3. 手足をばたばたさせておよぐ □
4. 遠足で動物園に行く □
5. 駅で電車を待つ □
6. 父の車で帰る □
7. 金づちでトントンとくぎを打つ □
8. 金曜日にプールがある □
9. 大雨で道が水びたしになる □
10. 雨天で運動会が延びる □
11. 青年が道を教えてくれた □
12. 青色のクレヨンで海をかく □
13. 五十音のひょうを見て字を書く □
14. 笛のきれいな音色が聞こえる □
15. クラスが一丸となって歌う □
16. 森で切った丸太をトラックで運ぶ □
17. 今は午後三時だ □
18. 今夜は星がよく見える □
19. 何時間もねむっていた □
20. 床に幾何学的な模様のタイルを張る □
21. 夏休みの工作で木の船ができた □
22. 母とクッキーを作る □
23. タンポポを根元からぬく □
24. 子犬が元気に走り回る □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん じゅくごのくみたて

なまえ

/ 20

二字の意味のつながりを考え、合う説明の記号を書きましょう。

- ア 意味の近い二字
- イ 反対の意味や対になる二字
- ウ 前の字が、後ろの字の様子や種類を示す
- エ 後ろの字が、前の字の動作の対象を示す
- オ 前の字が、後ろの字の意味を否定する

温暖　左右　急行　読書　未定

1. 貝柱 □
2. 赤組 □
3. 手足 □
4. 汽車 □
5. 金色 □
6. 雨具 □
7. 青空 □
8. 発音 □
9. 万感 □
10. 丸顔 □
11. 交通 □
12. 古今 □
13. 大会 □
14. 気体 □
15. 作文 □
16. 地元 □
17. 兄弟 □
18. 観光 □
19. 公開 □
20. 校内 □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん よじじゅくご

なまえ

/ 24

読みを確かめて、□へ漢字一字を書きましょう。

1. 頭寒□熱 ソク
2. 一刻千□ キン
3. 晴耕□読 ウ
4. □息吐息 アオ
5. 異口同□ オン
6. 笑止千□ バン
7. 玉石混□ コウ
8. 古□東西 コン
9. 遠慮□釈 エ
10. 表裏一□ タイ
11. 豊年満□ サク
12. 四海□弟 ケイ
13. 電□石火 コウ
14. □明正大 コウ
15. □憂外患 ナイ
16. 春夏秋□ トウ
17. 単□直入 トウ
18. 思慮□別 フン
19. 懇□丁寧 セツ
20. □人未到 ゼン
21. 泰山□斗 ホク
22. 一言□句 ハン
23. □風一過 タイ
24. 意気投□ ゴウ

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん ごじをなおす

なまえ

/ 24

次の文にまちがって使われている同じ読みの漢字が一字ある。上に誤字を、下に正しい漢字を書きなさい。

1. 誕生日に責飯をたく（たん）
2. 遠促で動物園に行く（とうぶつえん・い）
3. 汽者がポッポーと走る（はし）
4. お祭りで緊魚すくいをする（まつ）
5. 有天で運動会が延びる（うんどうかい・の）
6. 牲年が道を教えてくれた（みち・おし）
7. 日本語の母飲は五つある
8. 花火を見に十満人が来た
9. クラスが一岸となって歌う
10. 新しい学校で行友を広げる
11. 祖母は脅言葉で話す（そ）
12. 墾夜は花火大会がある
13. かぜをひいて泰温をはかる
14. アニメの原昨のまんがを読む
15. 子犬が原気に走り回る
16. 義径は高校で数学を教えている
17. 外国の人が観降に来る
18. 物語の主人候はねこだ（もの）
19. スケート場は党期だけ開く（ひら）
20. お城に宝東がかざってある（しろ）
21. 晴れた日は気文がいい
22. お年寄りに親説にする（よ）
23. 日曜日の午繕はピアノを習う（なら）
24. 夜空に伴月がうかんでいる

	誤	正
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

じゅん2きゅう 4かん おなじおんのかんじ

なまえ

/ 24

次のカタカナを漢字に直して、□に記せ。

1. □(セキ)油(ゆ)ストーブをつける
2. □(セキ)十字(じゅうじ)の旗(はた)がゆれる
3. エレベーターが□(ジョウ)下(げ)にうごく
4. 紺(こん)□(ジョウ)の海が水平線まで続く
5. 漢詩では句末で押(おう)□(イン)する
6. 日本語の母(ぼ)□(イン)は五つある
7. □(ガン)日(じつ)の朝に初(はつ)もうでに行く
8. クラスが一(いち)□(ガン)となって歌う
9. 新しい学校で□(コウ)友(ゆう)を広げる
10. となりの町は人(じん)□(コウ)が多(おお)い
11. 家族(ぞく)で□(キョウ)都(と)へ旅(りょ)行する
12. 正月に親(おや)□(キョウ)弟(だい)が集(あつ)まる
13. おばあさんとの□(カイ)話(わ)がはずむ
14. 海外で邦人が誘(ゆう)□(カイ)される
15. 大きな□(タイ)風(ふう)が近づいている
16. 長い山道を歩くには□(タイ)力(りょく)がいる
17. スケート場は□(トウ)期(き)だけ開(ひら)く
18. お城(しろ)に宝(ほう)□(トウ)がかざってある
19. 自(じ)□(ブン)で朝ごはんを作る
20. 遠足(えん)の作(さく)□(ブン)を書(か)く
21. 山の高(たか)さは三(さん)□(ゼン)メートルだ
22. 日曜日の午(ご)□(ゼン)はピアノを習(なら)う
23. 山で野(や)□(エン)の群れを見る
24. コンパスで半(はん)□(エン)をかく

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10